第3回新居浜市政策懇談会 長期総合計画検討分科会（第1分科会）

○日 時 平成27年10月30日（金）18:00～19:00

○場 所 新居浜市役所6階 議員全員協議会室

○委員の出欠 出席11名（秋山委員、飯尾委員、加藤委員、鎌田委員、後藤委員、高橋委員、福本委員、松長委員、守谷委員、柚山委員、新居浜商店街連盟 白石事務局長：代理出席）
欠席 5名（伊藤学委員、伊藤康雄委員、小野委員、中原英行委員、中原將貴委員）

○会議次第

1. 開会

2. 議事

(1) 第五次新居浜市長期総合計画中間見直し基本計画（案）について

(2) その他

○ 議事録

原専門部会長	<p>(開会)</p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今から「第3回 新居浜市政策懇談会 長期総合計画検討第1分科会」を開催いたします。</p> <p>本日は委員の皆様方にはご多忙にもかかわらず、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>議事に入ります前に、本日欠席とのご連絡をいただいております委員のご報告をいたします。新居浜市労働者福祉協議会の伊藤委員さん、いしづち森林組合の伊藤委員さん、新居浜市土地改良協議会の高橋委員さん、新居浜市漁業振興対策協議会の中原委員さんにつきましては欠席とのご連絡をいただいております。また、新居浜市商店街連盟の越智委員さんの代理といたしまして白石事務局長さんにご出席いただいております。</p> <p>それでは、これより会議を開会いたします。今後の会議の信仰につきましては、加藤分科会長をお願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
加藤分科会長	皆さん、こんばんは。お仕事でお疲れのところ、政策懇談会長期総合計

<p>庄司都市計画課長</p>	<p>画検討第1分科会にご出席いただきましてありがとうございます。本日の分科会で最後の分科会になろうかと思っておりますので、進行につきましてはご協力をお願いいたしたいと存じます。</p> <p>それでは、議事につきましては、お手元にお配りしております会議次第に沿って進めたいと思っております。本日の会議では、「快適交流」と「経済活力」の基本計画案につきまして、当分科会での最終の審議となりますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、施策ごとに専門部会からご説明をお願いします。最初に、「快適交流」専門部会からお願いいたします。</p> <p>「快適交流」専門部会説明</p> <p>フィールド：快適交流、施策1-1：「良好な都市空間の形成」について説明いたします。</p> <p>「後期取組方針」及び「現況と課題」につきましては、当初ご説明した見直し案から変更点はございません。活動指標の計画値につきましては、「用途地域面積」については、計画値の達成が、農業振興計画の見直しと密接に関連しており、達成が困難な状況でございますけれども、内容につきましては、今後「立地適正化計画」の立案のなかでより具体的な検討があることから、計画値の変更をしております。「地籍調査済み面積」は、目標の2,475haに対して、平成26年度末で1,808haとなっております。成果指標と目標値についてでございますが、「行政区域内人口に対する用途地域内人口割」は、目標値の60%に対しまして平成26年度末で57.1%となっております。「地籍調査進捗率」は、目標値に対して平成26年度末で7.8%となっております。</p> <p>「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」といたしましては、基本計画1-1-1「計画的な土地利用の推進」を継続・重点事項といたしまして、「総合的な土地利用計画の策定」という文言を削除し、新たに「立地適正化計画の策定」を挙げております。「建築基準法指定道路台帳の整備」については、概ね台帳の整備ができたことから削除しております。</p> <p>基本計画1-1-2「地籍調査の推進」につきましては変更ありません。</p> <p>「協働のまちづくりのための取組」については変更ありません。</p> <p>「個別計画」につきましては、新居浜市都市計画マスタープラン、新居浜市都市計画区域マスタープランとも、平成27年度に策定することといたします。以上でございます。</p>
-----------------	--

<p>秋月道路課長</p>	<p>施策1-2:「道路の整備」についてご説明いたします。</p> <p>まず、「後期取組方針」、「現況と課題」につきましては、見直し案からの変更はございません。次に、活動指標と計画値につきましては、まず、「11号バイパス供用延長」では、計画値9.3kmに対しまして、平成26年度末で4.4km、「都市計画道路の整備延長」では、計画値61kmに対しまして、平成26年度末で53.5km、「市道改良延長」では、計画値313kmに対しまして平成26年度末で299km、「バリアフリー歩道整備延長」では、計画値18kmに対しまして、平成26年度末で13.5kmとなっております。</p> <p>また、新たに追加設定いたしました「自転車専用通行空間の整備延長」につきましては、計画値35kmに対しまして、平成26年度末で9.8kmでございます。次に、成果指標と目標値につきましては、まず「市街地（船木～大生院）通過時間」では、目標値12分に対しまして、平成26年度末で21分となっております。「都市計画道路の整備率」では、目標値67%に対しまして、平成26年度末で58.6%、「市道改良率」では、目標値62%に対しまして、平成26年度末で61.3%、「バリアフリー歩道整備率」では、目標値81%に対しまして、平成26年度末で58.3%となっております。また新たに設定いたしました「自転車専用通行空間の整備率」につきましては、目標値28%に対しまして、平成26年度末で7.9%でございます。</p> <p>次に、「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」といたしましては、まず、基本計画1-2-1:「広域幹線道路の整備」と、1-2-2:「市域内幹線道路の整備」を継続・重点事項といたしました。次に、1-2-3:「生活道路の充実」における主な取り組み内容で、「市道横水松木線等の整備促進」という文言を削除し、「生活道路の適正な維持管理」を「生活道路の改良と適正な維持管理」に表現を改めました。また、新規の取組として、「安全で快適な自転車利用環境の創出」を追加し、主な取り組み内容として、「自転車専用通行空間の整備促進」並びに、「混在通行における通行位置の明示」を設定しております。</p> <p>次に、「協働のまちづくりのための取組」につきましては変更ありません。</p> <p>最後に「個別計画」につきましては、新居浜市都市計画マスタープランの策定を平成27年度に改めております。以上でございます。</p>
<p>庄司都市計画課長</p>	<p>引き続きまして、施策1-3:「JR新居浜駅周辺の整備」についてです。</p> <p>「後期取組方針」ですが、一部変更を加えおります。当初は「…の整備を図りました。」という表現でしたが、「…の整備を図りました。」だけではなくて、今後の適切な維持管理について記述しております。また、「民間施設の誘導やにぎわいづくり」についても記述しております。「現況と課題」</p>

<p>岸田建築指導 課長</p>	<p>につきましては、当初の見直し案からの変更はございません。</p> <p>「活動指標」ですが、「公共駐車場台数」につきましては、計画値を70台としておりましたが、平成26年度完成の駅南駐車を加えると、124台となり、平成27年度完成の駅南口駐車を加えると、144台となりますことから計画値を変更しております。同様に「公共駐輪場台数」につきましても、計画値を700台としておりましたが、平成26年度末で881台、平成27年度においては、既に970台となっていることから、計画値を変更しております。成果指標につきましては、「駅周辺のにぎわいに対する市民満足度」は、目標値の25%に対して、平成26年度には12.1%となっております。「JR新居浜駅年間乗降客数」は、当初、目標値を145万人としておりましたが、平成26年度には148万人と目標値を超えていることから、目標値を変更し、150万人としております。</p> <p>「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」といたしましては、施策1-3-1:「JR新居浜駅周辺の公共施設の整備」で、新たに整備したJR新居浜駅周辺の公共施設の維持・充実を新たに付け加えております。1-3-2:「駅南北一体化による新都市拠点の形成」は、取組区分を継続・重点としております。</p> <p>「協働のまちづくりのための取組」につきましては変更ありません。</p> <p>「個別計画」では、都市計画マスタープランの策定年度を変更しております。</p> <p>続きまして、施策1-4:「安心な住宅の整備」についてご説明いたします。前回の分科会でご説明した内容からの変更はございません。現計画からの変更といたしましては、「後期取組方針」につきましては、③の高齢者世帯の住宅確保について、公営住宅の建替事業において型別供給を行うことにより高齢単身者への供給戸数を増やすこと、サービス付き高齢者向け住宅制度の周知を、④の民間木造住宅の耐震改修の啓発について、より利用しやすい補助制度と老朽空き家の適正管理対策の実施を付け加えております。次に「現況と課題」ですが、高齢者住宅等の確保につきましては、高齢化と核家族化の更なる進行が見込まれるなか、これまでの施策を踏まえて、福祉施策と連携して住宅セーフティネットワークの充実が課題である点と、民間木造住宅の耐震改修については、計画策定時に行われていなかった民間木造住宅の耐震改修補助制度を実施していること、耐震化への一層の啓発と制度利用が進んでいないこと、補助制度の見直し、老朽家屋の適正管理が課題であることを加えております。</p> <p>次に、活動指標についてでございます。「公営住宅の耐震化工事実施棟数」</p>
----------------------	--

<p>庄司都市計画課長</p>	<p>につきましては、計画値 20 棟に対しまして、平成 26 年度で 6 棟、「民間木造住宅耐震診断補助」につきましては、計画値 25 戸に対しまして、平成 26 年度は 14 戸、「民間木造住宅耐震改修補助」につきましては、計画値 15 戸に対して、平成 26 年度は 7 戸でございます。</p> <p>次に成果指標についてでございます。成果指標の 2 段目「高齢者円滑入居賃貸住宅の登録件数」を「サービス付き高齢者住宅の登録件数」に改めております。これは、法改正により高齢者円滑入居賃貸住宅の登録制度が廃止され、サービス付き高齢者住宅の登録制度になったことによるものでございます。また、平成 26 年度における登録件数が、当初の目標値の 10 件に達したことから、平成 32 年度の目標値を 15 件と改めております。その他の目標値につきましては「公営住宅ストックの耐震化率」では、目標値 77% に対しまして、平成 26 年度で 56.8%、「民間木造住宅の耐震化率」では、目標値 80% 対して、平成 26 年度 55.8% となっております。</p> <p>次に、「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」につきましては、1-4-3:「高齢者の住宅の確保」の取組内容を「高齢者向け優良賃貸住宅の建設推進のため支援」から「公営住宅の型別供給による単身高齢者への供給」に改めております。</p> <p>「協働のまちづくりのための取組」につきましては、行政の取組として市街地への居住誘導を念頭に、「既成市街地への公的賃貸住宅の建替え及び建設の検討」という文言を追加しております。</p> <p>「個別計画」につきましては、「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」と、「新居浜地域住宅計画」を平成 23 年度に策定しましたことによりまして、策定年度の修正、「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」の前計画である、「新居浜市公営住宅ストック総合活用計画」を削除しております。以上でございます。</p> <p>続きまして、施策 1-5:「公園・緑地の整備」についてでございます。</p> <p>「後期取組方針」のうち、③の総合運動公園につきましては、「総合運動公園構想の策定を行います。」と表現を改めております。「現況と課題」につきましては変更ありません。</p> <p>活動指標につきましては、「都市公園設置数」では、計画値 31 か所に対しまして、平成 26 年度で 28 か所となっております。「景観計画区域面積」につきましては、計画値 40ha に対して、まだ策定されていない状況でございます。</p> <p>成果指標につきましては、「公園・緑地における公共施設愛護事業参加者数」が当初目標値の 1,894 人に対して、平成 26 年度に 2,168 人となっております。</p>
-----------------	---

<p>安藤港湾課長</p>	<p>りますことから、目標値を2,700人に改めております。「都市公園面積（市民1人当たり）」につきましては、目標値13.21㎡に対しまして、平成26年度で11.12㎡となっております。「都市景観に配慮したまちづくりに対する市民満足度」では、目標値15%に対しまして、平成26年度で9.6%となっております。</p> <p>次に、「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」といたしましては、1-5-2:「公園・緑地整備の推進」を重点項目としておりましたが、公園長寿化計画の策定に基づき、既存公園の再整備について重点を置くことといたしました。また、1-5-3:「総合運動公園整備の推進」では、「総合運動公園整備についての検討」から「総合運動公園構想の策定」に文言を変更いたしました。</p> <p>「協働のまちづくりのための取組」につきましては変更ありません。</p> <p>「個別計画」につきましては、「都市計画マスタープラン」の策定年度を変更しております。</p> <p>続きまして、施策1-6:「港湾の整備」についてでございます。</p> <p>まず、「後期取組方針」でございますが、一部表現を改めております。②ですけれども、以前は、県地域防災計画と表記しておりましたが、「県」を削除しております。</p> <p>「現況と課題」については、2つ目の「大規模地震発生時」のところですが、4行目で、「橋梁等の港湾施設の耐震化」と表記しておりましたが、「耐震補強」と改めております。</p> <p>また、3つ目ですが、「海岸の護岸、港湾施設及び緑地施設の老朽化」を「港湾、緑地、海岸保全施設の老朽化」に変更しております。次に3行目の「沿岸域の市民」を「沿岸域に居住する市民」に変更しております。</p> <p>次に、活動指標と計画値でございます。「供用している公共岸壁数」ですけれども、現況値は11か所でございますが、港湾計画に謳われております菊本岸壁がございますので、12か所に改めております。また、「耐震強化岸壁の整備数(累計)」につきましては、前期で既に完成しておりますので、後期においては、「耐震補強した港湾施設数(累計)」に指標を改めております。それで、現況は耐震強化岸壁が1箇所できておりますが、後期ではそれを含めて3箇所という計画値を設定しております。次に、「港湾・海岸保全施設の維持管理計画の策定」でございますが、現況値は104施設でございますけれども、今後海岸保全施設について維持管理計画を策定することということで、152施設を後期の計画値と設定しております。</p> <p>次に、成果指標と目標値でございます。まず、「公共岸壁の整備率」です</p>
---------------	---

	<p>が、これについては「事業着手を含む」という文言を追加しております。現況値では12岸壁のうち11岸壁が整備されておりますので91.7%、32年度の目標値は100%と設定しておりますが、工事終了までとなると数年かかりますので「事業着手を含む」としてしております。次に「港湾施設の耐震補強進捗率」ですが、現況値では耐震補強の計画が全部で7施設ございますので、そのうち1施設ができておりますので14.3%、目標値は3施設で42.9%としております。「港湾・海岸保全施設の維持管理計画策定進捗率」につきましては、目標値を100%としております。</p> <p>次に、「取組方針に基づく後期基本計画・主な取組内容」でございますけれども、基本計画につきましては変更ございません。1-6-3:「港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化」を継続・重点項目としておりまして、長寿命化計画を進めていき、適切な港湾の維持管理に努めていきたいと考えております。1-6-2:「大規模地震対策施設の整備」については、主な取組内容として「災害時の危機管理体制を支える港湾施設の整備」と文言を改めております。</p> <p>「協働のまちづくりのための取組」につきましては変更ありません。</p> <p>「個別計画」といたしましては、「新居浜港港湾計画」が平成11年に改訂されているということでございます。以上でございます。</p>
加藤分科会長	<p>ありがとうございました、ただいま「快適交流」専門部会から基本計画案についてご説明いただきましたが、委員の皆さんから何かご質問ございませんか。</p> <p>(質問なし)</p>
加藤分科会長	<p>ご質問がございませんので、続きまして、「経済活力」専門部会から、施策ごとに基本計画案についてご説明をお願いいたします。</p> <p>「経済活力」専門部会説明</p>
亀井産業振興課長	<p>それでは、フィールド3:「経済活力」、施策3-1:「工業の振興」について説明いたします。</p> <p>基本計画3-1-1:「新事業展開の促進」の主な取組内容として、「創業」という文言を追加しております。また、「新居浜ものづくりブランドの情報発信と販路拡大」を付け加えております。次に3-1-2:「支援体制の強化・拡充」につきましては、活動指標に「支援機関連絡会議(仮称)」というの</p>

がありましたが、現在、東予地方局及び今治市から四国中央市までの東予地域の行政機関、えひめ東予産業創造センターやものづくり人材育成協会等の産業支援機関、新居浜高専や高等技術専門校等の教育機関で構成する「TOYO産業ネットワーク」という会議を設けておりますので、そちらの方に文言を改めております。

次に3-1-3:「産業を支える人づくり」では、活動指標の「人材養成事業補助金交付件数」が、既に計画値を達成しているため、計画値を28件から35件に上方修正しております。同じく、成果指標につきましては、「人材養成事業補助対象者数」の目標値60人をすでに達成しているため、170人に変更しております。また、主な取組み内容として「ものづくりマイスター認定制度の創設」、「高度技能伝承に対する支援」という取組みを追加しております。

3-1-4:「企業誘致及び立地の促進」については変更ありません。

次に施策3-2:「商業の振興」につきましては、3-2-1:「にぎわいと魅力あふれる商店街の形成」につきまして、活動指標の「中心商店街イベント開催件数」についてはすでに計画値を達成しているため、計画値を26件から35件に変更しております。次に成果指標「中心商店街の年間商品販売額」の現況値が記載されておりましたが、これは平成26年度商業統計調査の結果が現在出ておりませんことから数値は入っておりません。主な取組み内容に変更はございませんが、現在、まちづくり協議会において中心商店街の活性化に向けた協議を行っておりまして、今後、取組を重点化していきたいという考えから、取組区分に「重点」を追加しております。

次に、3-2-2:「商業に集積と機能の充実」及び、3-2-3:「経営・販売促進への支援」につきましては、3-2-3:「経営・販売促進への支援」の主な取組内容に、「工業の振興」と同じく「創業・起業に対する支援」という取組を追加しております。

次に、施策3-8「雇用環境の整備・充実」についてでございます。

3-8-1:「雇用対策」の主な取組み内容として「市内企業の情報発信」、「市内企業合同説明会等の開催」、「実効性のある雇用確保」という取組を追加しております。

次に3-8-2:「働きやすい環境づくり」につきましては、活動指標の「シルバー人材センター会員数」の現況値が918人と計画策定時より大きく減少しております。これについては、平成25年度から会員の会費を値上げした結果、会員数が大幅に減少したことが原因となっておりますが、現在会員の拡大に向けて取り組んでおりますことから、計画値は1,600人から下方修正となりますが、現況値の1.2倍の1,100人を計画値として変更して

<p>高岸農林水産課長</p>	<p>おります。同じく成果指標の「シルバー人材センター就業実人員」ですが、これにつきましても、会員数と同じように現況値が計画策定時の 955 人から 791 人まで減少しており、これについても、目標値 1,200 人よりは下方修正となりますが、現況値の 1.2 倍の 1,000 人を目標値として変更しております。これにつきましては、主な取り組み内容として「女性が活躍できる環境づくりへの支援」という取組みを追加し、新たに取組区分を「重点」としております。</p> <p>最後に 3-8-3:「勤労者福祉の推進」ですが、これについては、活動指標の「勤労者融資設定融資枠」の現況値が 7 億 3 千万円となっておりますが、平成 27 年度に、既に 9 億 3 千万円まで融資枠を変更しているため、計画値を 8 億 8 千万円から 10 億 1 千万円に変更しております。この理由については、住宅の融資について消費税の駆け込みで既に融資枠が増えているということが原因で、成果指標の「融資枠に対する利用率」につきましても、平成 29 年の消費税増税前に利用増が見込まれることから、先ほどの融資枠の計画値を増やしたのと同様に、目標値についても 100%と変更しております。以上でございます。</p> <p>続きまして、施策 3-3:「農業の振興」についてご説明いたします。</p> <p>まず、3-3-1:「農産物の地産地消の推進」のところで、主な取り組み内容に、「産直市開設支援」を付け加えました。</p> <p>次に、3-3-2:「農地の有効利用と環境にやさしい農業の推進」のところで、成果指標の「耕作放棄地（遊休農地）面積」の現況値が目標値を上回ったため、59.8ha を目標値として設定しております。</p> <p>次に、3-3-4:「農業生産基盤の整備」のところで、活動指標の「水路改修延長」の現況値が計画値に近づいたため見直しを行いました。現在 5,773 m ですが、8,800m に計画値を変更いたしました。</p> <p>次に、3-3-5:「農産物のブランド化と高付加価値化の促進」で、成果指標の「新居浜産農産物を使用した地域特産品数」が、今現在 31 種類開発しております。目標値の 14 種類を大きく上回っておりますので、見直しをして 34 種類といたしました。</p> <p>次に施策 3-4:4「林業の振興」についてでございます。</p> <p>まず、3-4-1:「環境保全とふれあいの森林づくり」で、活動指標の「間伐面積」と成果指標の「森林吸収目標達成率」の計画値、目標値を下方修正しております。この理由につきましては、林家の高齢化や後継者不足に伴いまして、また、木材価格の低迷などの理由により施業面積が減少しているということで下方修正を行いました。また、これには平成 23 年と 25</p>
-----------------	---

年の台風による災害より、林道が大きく損傷しまして、なかなか間伐面積が上向きに推移していないという事情があり、平成 23 年度から 25 年度につきましては 199ha、158ha、171ha ということで推移しておりましたけれども、現況値は 92ha ということであり、計画値については 200ha ということで、23 年から 25 年の値に近い数値で設定いたしました。成果指標の「森林吸収目標達成率」につきましては、間伐面積の 200ha に伴う数値で、京都議定書で、新居浜市は年間で 376ha が目標としているところで、その割合で 53.2%として下方修正しております。

次に、3-4-3:「木材の加工流通の整備」のところ、活動指標の「加工流通支援対策」で、市内の企業にボイラーとか乾燥機とか自動選別装置とかの設備を導入に対する補助を行う事業なんですけれども、これも当初の計画値に達したため、計画値を 6 事業と上方修正いたしました。次に、成果指標の「森林組合直販流通量」ですけれども、近年は直販よりも市場に出すことが有効であるため、数値が下がっておりまして、森林組合への聞き取りにより目標値を再設定いたしました。直販のほうが手数料や整理料等を節約できて、買い取り側も安い材が入手できるというメリットもあるんですけれども、直販というのは、ヒノキとかスギをメインにしているんですけれども、直販に出すためには規格が非常に厳しいというところがございまして、民有林についても規格に合うような材が生育していないということを森林組合からお聞きしております。これも先ほど申しましたけれども、台風災害の影響で林道や作業道があちらこちらで寸断された影響で、順調な搬出ができないということもあり、減少しております。また、規格が厳しいために、市場のほうが規格が緩やかであることから、今のところ市場のほうが有効であるため、直販量が減少しているとお聞きしております。

説明が前後しましたが、3-4-2:「林業生産基盤の整備」の主な取り組み内容で、「林道及び作業道の開設」と、「別子山森林整備」ということで、別子山の市有林、民有林も含めまして整備していきたいということで付け加えております。

次に、施策 3-5:「水産業の振興」についてでございます。

3-5-1:「漁業生産基盤の整備」と、3-5-3:「環境にやさしい漁業の推進」というところで、成果指標で「漁獲高」と「漁獲量」があるんですけれども、これは、漁価の低迷や漁業者の減少などで減少しております。これにつきましては、様々な原因はあるんですけれども、一番大きな原因はやはり漁業者数が、策定時 195 人いたのが、平成 25 年では 138 人と 30%減少しております。漁業者が減少したということと、魚も減少しているというこ

<p>高橋運輸観光課長</p>	<p>ともあるんですけれども、そのようなことも影響しまして目標値も減少しております。「漁獲高」につきましては、目標値を15億円としていたんですが、9億円に、「漁獲量」につきましても2,500tを1,600tというところで変更いたしました。</p> <p>3-5-2:「漁業協同組合の強化と漁業の担い手支援」のところで、活動指標の「漁協基盤の強化に向けた関係者との協議回数」につきましては、漁港施設の整備であるとか、漁協資源の確保を目的とした協議回数が目標回数に達したため、計画値を15回と上方修正しております。成果指標の「経常利益が黒字の漁協の率」ですが、計画策定時には5漁協あったんですけれども、垣生南がなくなりましたので、市内4漁協という形で修正しております。主な取り組み内容ですけれども、「漁協水産施設修繕への支援」ということで、各漁協の古くなった施設等を現在修繕しているということで、取組内容を記載しております。</p> <p>最後に、3-5-4:「水産物の高付加価値化の推進」のところで、成果指標の「地域水産物を使用した加工品の取扱量」につきましては、ほとんど大島漁協で行っておりますいりこ製品がメインでありまして、その材料のイワシの減少で現況値が35.3tとなっており、目標値の45tにはなかなか到達しないだろうということで、今、6次化産業ということで取り組んでいただいているところがございますので、それを見越しまして、目標値を40tと設定しております。主な取組内容としても、6次化産業の推進支援と、それに伴う加工や流通、販路開拓への支援を行っていきたいと考えており、取組区分についても「重点」としております。以上でございます。</p> <p>施策3-6:「観光・物産の振興」について説明いたします。</p> <p>まず、活動指標の「観光サイトの更新回数」につきましては、現況値が40回であることから、計画策定時の計画値60回に変更はございません。成果指標の「観光サイトのアクセスユーザー数」につきましても現況値が39,092人でございますことから、計画策定時の目標値50,000人と変更はございません。3-6-1:「観光ルート及び施設の整備と観光宣伝の充実」の主な取り組み内容でございますが、「着地型旅行商品の企画・造成・発信」と「観光施設等でのイベントの開催」を新たに追加し、「観光施設・スポットの整備」は、「ゆらぎの森等観光施設の整備」と記載を改めました。</p> <p>次に、活動指標の「産業遺産関連観光冊子の発行数」につきましては、現況値が15,000部で計画値を既に達成いたしましたので、18,000に上方修正いたします。成果指標の「関連施設入込客数」につきましては、現況値が105,677人となり、目標値の86,000人を既に達成いたしましたので、</p>
-----------------	---

121,000人に上方修正いたします。3-6-2:「近代化産業遺産を活用した観光の振興」の「主な取り組み内容といたしましては、「銅婚の里等のPR」を新たに追加し、「筏津山荘の改築」は、「旧別子観光センターの跡地整備」と記載を改め、「観光振興計画の策定」は「観光振興計画等の策定」と一部修正いたしました。

次に、活動指標の「太鼓祭りポスター掲載箇所数」につきましては、現況値が631箇所、計画値の580箇所を既に達成いたしましたので、820箇所に上方修正いたします。成果指標の「新居浜太鼓祭り観客数」につきましては、現況値が181,000人で目標値の120,000人を既に達成いたしましたことから、近年では最高の人数を上回る200,000人に上方修正いたします。3-6-3:「太鼓祭りを活用した観光の振興」の主な取り組み内容といたしましては、「総合文化施設（あかがねミュージアム）内への太鼓台コーナー開設の推進」を「総合文化施設（あかがねミュージアム）内の太鼓台ミュージアムへの誘客」と記載を改めました。

次に、活動指標の「物産展開催数」につきましては、現況値が32回となり、計画値の30回を既に達成いたしましたので、36回に上方修正いたします。なお、成果指標の「物産展売上額」につきましては、現況値が1,545万円であり、計画策定時の目標値2,000万円に変更はございません。

3-6-4:「新居浜ブランドの育成・拡大」の主な取り組み内容といたしましては、「食を活かした観光の振興」を新たに追加し、「観光物産コーナー開設の推進」は、「ブランド力向上及び魅力の発信」と記載を改めました。

次に、活動指標の「観光案内板整備数」につきましては、現況値が1箇所ありますことから、計画策定時の計画値2箇所に変更はございません。

成果指標の「入込観光客数」につきましては、目標値の220万人を既に達成いたしましたので、今後、あかがねミュージアムやマイントピア別子リニューアル効果を視野に入れまして、目標値を250万人に上方修正しております。3-6-5:「ホスピタリティの向上と人材育成」の主な取組内容といたしましては、「ガイド活動への支援」を新たに追加し、「観光案内板の整備」は、「観光案内の充実」と記載を改めました。

次に、新たな活動指標と計画値といたしまして、「マイントピア別子にかかる情報提供数」を設定し、平成26年度はホームページや市政だより、SNS、観光情報誌への掲載など53回でございましたので、計画値は90回に設定いたしました。新たな成果指標と目標値といたしまして、「マイントピア別子（端出場）入込客数」を設定し、平成26年度の現況値は431,010人でしたので、今後マイントピア別子リニューアル効果を考慮し、目標値は55万人に設定いたしました。3-6-6:「マイントピア別子への誘客促進」の主な

	<p>取り組み内容は「マイントピア別子宣伝の推進」と「マイントピア別子へのイベント誘致」を新たに追加いたしました。</p> <p>次に、「協働のまちづくりの推進」につきましては、別紙にございますが、行政の欄で、「魅力ある観光地づくりの宣伝活動」の後に、「地域特産品の普及」という文言を新たに追加しております。</p> <p>基本計画の「取組区分」につきましては、すべて「重点」としております。</p> <p>「個別計画」につきましては、「別子銅山近代化産業遺産を活かしたまちづくり総合整備計画」（平成23年度策定）を追加しております。</p> <p>引き続きまして、施策3-7:「運輸交通体系の整備」についてご説明いたします。</p> <p>まず活動指標の「公共交通（バズ・デマンドタクシー）路線・エリアの維持・確保数」につきましては、現在の13路線・エリアから、今後新たな公共交通形態導入の予定やバスの新たな路線開設は期待できないことから、計画値につきましては現況値の13路線・エリアに下方修正したいと考えております。成果指標の「公共交通（バス・デマンドタクシー）の利用者数」につきましては、策定時の目標値は57万でございましたが、策定時には、「新居浜市都市交通戦略」においてコミュニティバス等で年間14万人の利用を想定していたものが、新居浜市ではデマンドタクシーの本格運行を決定しましたことから、これまでのデマンドタクシーの実績値を考慮して試算いたしましたところ、年間14,000人余りの利用者数が想定されますので、目標値57万人からコミュニティバス等の利用者数14万人を引いて、デマンドタクシーの利用予定者数14,000人余りを加えた数値の約44万人と下方修正するものでございます。3-7-1:「公共交通の拡充整備」の主な取組内容といたしましては、「デマンドタクシーの導入」は「デマンドタクシーの運行」と記載を改めました。また、「渡海船大島待合所の改修」は既の実施済みのため削除いたしました。以上でございます。</p>
加藤分科会長	<p>ありがとうございました。ただいま、「経済活力」専門部会から基本計画案の説明がございましたが、委員の皆さん、ご意見、ご質問等ございましたらご発言ください。何かございませんか。</p>
福本委員	<p>「農業の振興」で、駅南のまちづくりのなかで産直市の開設支援というのがございましたが、農協としても前向きに検討いたしておりますので、今後行政と一緒に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお</p>

	願います。
加藤分科会長	ありがとうございました。そのほか何かございませんか。
加藤分科会長	私のほうから2点ほど質問させていただきます。 まず、「雇用環境の整備・充実」のなかで、「女性が活躍できる環境づくりへの支援」を主な取組内容として新たに記載しておりますが、具体的にはどのようなイメージなのでしょう。現時点でわかる範囲で説明をお願いいたします。
亀井産業振興課長	現在策定中の「総合戦略」のなかでも計画しておりますが、女性が働けるための環境づくりということで、例えば、女性の更衣室とか女性用のトイレとかを整備する場合に、市として支援することで、少しでも女性が働ける場所づくりを支援したいと考えております。
加藤分科会長	ありがとうございました。それと、「観光・物産の振興」で、3-6-1:「観光ルート及び施設の整備と観光宣伝の充実」の取組内容のなかで、着地型旅行商品の造成、発信とありますが、具体的にはどういった観光施設を想定しているのか現時点でわかる範囲で説明をお願いいたします。
高橋運輸観光課長	まず、着地型旅行商品の核といたしましては、マイントピア別子の端出場地域を中心といたしまして、端出場と東平を結ぶ一つの旅行商品、また、端出場と広瀬歴史記念館を結ぶ旅行商品、そういったものを中心に今後も考えていきたいと思っております。
加藤分科会長	ありがとうございました。ほかにご意見、ご質問等ございませんか。
後藤委員	今日、マイントピアでも話したんですけども、SNSの活用方法なんですけども、今は日本人だけではなくて海外、インバウンドの外国の観光客を増やそうということで、新居浜も今、中国人の実習生とかベトナムからも来ているので、そういう人を招待して、SNSで発信してもらおう。結構いろんな観光地のSNSのサイトを見て来るといってもありますので。松山で話してきたのは、愛大に来ている留学生にそういうのをやってもらおうと。お金がかからなくて、結構宣伝効果もあるんじゃないかと思っておりますので、そういうやり方もあるんじゃないかと思っております。

加藤分科会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今からの超高齢化の人口減少社会における労働力の確保というのは、新居浜にとっても非常に大きなテーマでありますので、特に女性が活躍できる環境づくりというのは、人材育成という視点も含めて、女性が社会進出しやすい環境づくりについて、今後取り組んでいただけるようお願いしたいと思います。</p> <p>ほかになにかご意見はございませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>ご意見等がございませんので、長期総合計画中間見直しに関する今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
鴻上総合政策課長	<p>本日もちまして、分科会での協議は終了といたしたいと考えております。本日いただきました御意見も踏まえるとともに、その他2つの分科会での協議内容をとりまとめた上で、11月6日に開催いたします政策懇談会において、基本計画の中間案として協議していただきます。</p> <p>本年度の政策懇談会では、「第五次新居浜市長期総合計画の中間見直し」と併せて、「地方創生」についても取り組んでおります。11月6日の政策懇談会において、地方創生のための「新居浜市総合戦略」が協議、承認される予定でございますので、総合戦略が決定いたしましたら、総合戦略との整合性を図った上で、再度11月末に予定しております政策懇談会で御審議いただき、長期総合計画後期基本計画の最終見直し案を決定いたします。そして、来年1月に予定しておりますパブリックコメントを経て、年度末までに後期計画を決定する予定としております。</p> <p>最終的な後期計画が決定いたしましたら、みなさまに改めてご報告させていただきます。</p>
加藤分科会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、今回、委員の皆様からいただきましたご意見も踏まえ、11月6日に開催いたします政策懇談会におきまして、各分科会の基本計画(案)のご審議をいただくということで、よろしいでしょうか。</p>

加藤分科会長	<p>(異議なし)</p> <p>委員の皆様のご承認をいただきましたので、第1分科会から「快適交流」及び「経済活力」の基本計画(案)を政策懇談会に諮りたいと思います。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しい中会議へご出席いただき、熱心にご審議いただきましたことに心から感謝申し上げます。</p> <p>皆様からいただきました貴重なご意見につきましては、できる限り長期総合計画に反映していただき、行政におかれましては、新居浜市の将来都市像であります「一あかがねのまち、笑顔輝く一産業・環境共生都市」の実現に向けた取組を推進していただきますようお願いいたしますと存じます。</p> <p>以上を持ちまして、分科会を終了いたします。委員の皆様には長時間にわたるご審議をいただきして、ありがとうございました。</p> <p>閉 会</p>
--------	---